

4 文節の働き

4-4

4 補助の関係に下線を引き、あとの語群から選べ。

- (1) 泣いている赤ん坊が、母親をみて泣きやんだ。 []
(2) 片づけておいたので、母にほめられた。 []
(3) 花のにおいが、風に乗って漂ってくる。 []
(4) 小さな蛇が、冬眠しているのを見つけた。 []

ア 主部 イ 述部 ウ 修飾部 エ 接続部 オ 独立部

5 適語選択

[例] () 梅がさいた。(「梅」の連体修飾語) [ア]

ア 隣の庭の イ 隣家の庭に ウ 隣家の庭で

(1) 花が美しく()。(補助の関係) []

ア 咲くだろう イ 咲く ウ 咲いた エ 咲いている

(2) この川は()広い。(「広い」と並立の関係) []

ア 深いから イ 深くて ウ 浅いのに エ 浅いが

(3) 花の()見えます。(主語になる) []

ア 咲いて イ 咲くかに ウ 咲いているのが エ 咲くように

6 下線部は、あとのどれにあたるか選べ。

- (1) 十四世紀の初め、それは、文明の開けるときだった。 []
(2) 今日出席したのは、数人だけでした。 []
(3) ぼくは、君が落とした財布を拾った。 []

ア 主部 イ 述部 ウ 修飾語 エ 独立部 オ 接続部